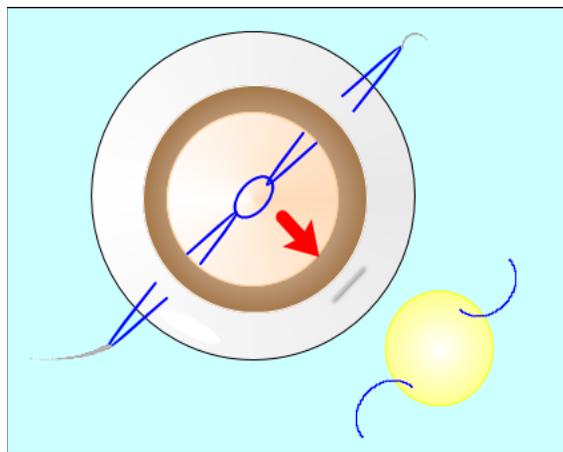
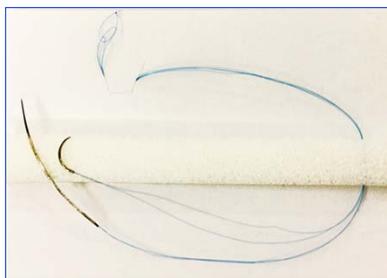


HS-2753C ダブルループ連結型IOL縫着針

Connected looped suture

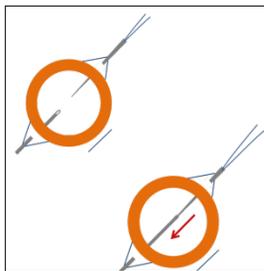
本製品は、9-0ポリプロピレンループ糸付針を小ループ（同素材）にて連結された製品です。この構造により、一度の対面通糸操作で2本のループ糸の確実な通糸が可能となり、IOL縫着をより容易に行う事が出来る製品となっております。

御考案・御指導：昭和大学江東豊洲病院 眼科 浅野泰彦 先生
原案：みやた眼科（福岡県） 宮田啓明 先生

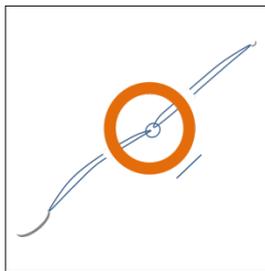


使用VTRございます

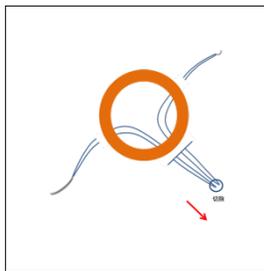
らくらく IOL縫着



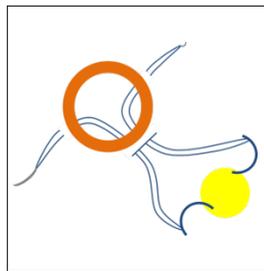
180度対側に強膜フラップを作製し、連結型ループ針を、誘導用27ゲージ針を用いてab externoにて強膜間に通糸します。長針は長さ18mmと長く、強膜間を通糸するために十分な長さになっています。



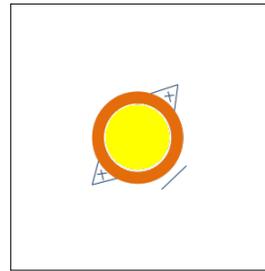
糸を引いていき、連結部小ループを瞳孔中央まで移動させます。



IOL挿入用切開創より、前嚢鑷子等を用いて小ループを眼外に引き出すと、同時に2組のループ糸が眼外に引き出されます。剪刀にて連結部小ループを切除します。



2組のループ糸が通糸された状態になっていますので、それぞれのループ糸をIOL支持部にカウヒッチノットにて連結固定します。



IOLを眼内に挿入し、それぞれのループ糸を強膜フラップ下に縫着固定します。一方は短針になっていますので、縫着操作が容易です。強膜フラップ、結膜を縫合して終了します。

HS-2753C ダブルループ連結型IOL縫着針 (1箱5セット)

長針:18mm 1/8R 短針:5mm 3/8R
9-0ポロプロピレン糸 8cmループ×2組
連結ループ部 Φ3mm

【参考文献】

「新しく試作した両端針付き連結ループ型眼内レンズ縫着糸の使用経験」
昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 浅野泰彦…他
(IOL&RS 29: 91-96, 2015)

「連結型ループ針を使用した虹彩付眼内レンズ縫着術」
昭和大学藤が丘リハビリテーション病院、富士吉田市立病院 浅野泰彦…他
(眼科手術 29: 139-144, 2016)